

「地域発！いいもの」応募申請書

記入日: 令和 年 月 日

中央技能振興センター 殿

[記載上の留意事項]

1. 「募集要項」や後述の【応募上のご注意】に了解、同意の上、記載してください。
2. 記入欄が足りない場合、様式は改変せず別紙を添付してください。
3. 補足資料がある場合は、A4版の任意の様式として3枚程度までとしてください。
4. 取組の具体的な様子が把握できる写真のデジタルデータ(3枚程度)をご提出ください。
5. 「写真」や「図」等をご使用いただき、分かりやすい説明に心掛けてください。
6. 「地域発！いいもの」に選定された取組については、非公開項目(※印)を除きポータルサイト「技のとびら」や資料等で公開します。

1. 応募者概要

(ふりがな)		(ふりがな)	
企業・団体名		代表者氏名 ※	
		役職名 ※	
所在地	〒		
連絡担当名 ※		所属 ※	
電話番号 ※		FAX番号 ※	
E-mail ※		URL	
企業・団体等の概要	＜業種、業務概要等を記載＞		

【応募上のご注意】

- ・応募者は募集要項の内容について了解、同意の上、ご応募ください。
- ・ご提出していただいた書類は返却いたしません。控えなどは応募者責任でご対応ください。
- ・応募申請書や補足資料に貼付する写真や図については、肖像権や知的財産権等の関係法令に抵触しないものをご使用ください。
- ・応募に係る電話番号等の個人情報は、適切に管理し、「地域発！いいもの」の選定及び本事業から暴力団等を排除する目的以外には使用しません。

※地域技能振興コーナー記入欄

受付年月日	令和 年 月 日
都道府県名	
受付番号(2桁)	
確認者名	
備考	

※中央技能振興センター記入欄

選定番号	
備考	

2. 取組概要

(1) 取組名称	(2) 実施開始年月			
	昭和・平成・令和	年 月		
(3) 取組内容(概要)				
<p><選定委員会での選定や、選定後の事例紹介において使用する文章です。記入例及び昨年度の選定事例(※)における記載内容を参考に、活動内容の特徴や取組の効果が伝わるよう、わかりやすく簡潔に(150文字程度で)ご記入下さい。></p> <p>(※)厚生労働省における報道発表資料の別紙2をご参照ください。 平成30年度「地域発！いいもの」に、9都県の企業・団体の取組を選定しました https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_04003.html</p>				
(4) 取組内容(詳細)				
<p><選定委員会での選定や、選定後の事例紹介において使用する文章です。記入例及び昨年度の選定事例(※)における記載内容を参考に、活動内容の特徴や取組の効果が伝わるよう、わかりやすく簡潔に(450文字程度で)ご記入下さい。></p> <p>(※)厚生労働省における報道発表資料の別紙2をご参照ください。 平成30年度「地域発！いいもの」に、9都県の企業・団体の取組を選定しました https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_04003.html</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>(4)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)</td> <td> <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し </td> </tr> </table>	(4)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
(4)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し			
(5) 取組のアピールポイント・特徴・取組の効果など				
<p><選定委員会での選定や、選定後の事例紹介において使用する文章です。記入例及び昨年度の選定事例(※)における記載内容を参考に、活動内容の特徴や取組の効果が伝わるよう、わかりやすく簡潔に(300文字程度で)ご記入下さい。></p> <p>(※)厚生労働省における報道発表資料の別紙2をご参照ください。 平成30年度「地域発！いいもの」に、9都県の企業・団体の取組を選定しました https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_04003.html</p>				
		<table border="1"> <tr> <td>(5)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)</td> <td> <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し </td> </tr> </table>	(5)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
(5)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し			

3. 暴力団等に該当しない旨の誓約書

応募にあたり、「誓約書」の内容を確認の上、口に✓印をご記入ください。

誓 約 書

- 当社（当団体）又は私は、下記1及び2のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。
この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

1 応募者として不適当な者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事業所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 応募者として不適当な行為（活動）をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて本事業関係者等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) 公序良俗に反する行為（活動）、又はその恐れのある行為（活動）を行う者
- (6) 法律、法令もしくは条令に違反する行為（活動）、又はその恐れのある行為（活動）を行う者
- (7) その他前各号に準ずる行為（活動）を行う者

「地域発！いいもの」応募申請書(記入例)

記入日: 令和元年〇月〇日

中央技能振興センター 殿

[記載上の留意事項]

1. 「募集要項」や後述の【応募上のご注意】に了解、同意の上、記載してください。
2. 記入欄が足りない場合、様式は改変せず別紙を添付してください。
3. 補足資料がある場合は、A4版の任意の様式として3枚程度としてください。
4. 取組の具体的な様子が把握できる写真のデジタルデータ(3枚程度)をご提出ください。
5. 「写真」や「図」等をご使用いただき、分かりやすい説明に心掛けてください。
6. 「地域発！いいもの」に選定された取組については、非公開項目(※印)を除きポータルサイト「技のとびら」や資料等で公開します。

1. 応募者概要

(ふりがな)	マルマルジキョウキョウトウクミアイ	(ふりがな)	チュウオウタロウ
企業・団体名	〇〇事業協同組合	代表者氏名 ※	中央 太郎
		役職名 ※	理事長
所在地	〒000-0000 東京都〇〇区〇〇1-1-1		
連絡担当名 ※	中央 次郎	所属 ※	〇〇部
電話番号 ※	000-000-0000	FAX番号 ※	111-111-1111
E-mail ※	〇△〇@javada.com	URL	www.javada.com
企業・団体等の概要	<業種、業務概要等を記載> 1. 組合員の取り扱う製品、その他の諸材料の共同購入及び〇〇工事の共同受注 2. 〇〇に関する技能講習会の実施、技能検定試験等の各種講習会・セミナーの開催 3. 〇〇の周知及び普及並びに後継者・人材育成を図るため、関係機関と連携した若年者向けの「ものづくり体験教室」、「イベント」への参加等		

【応募上のご注意】

- ・応募者は募集要項の内容について了解、同意の上、ご応募ください。
- ・ご提出していただいた書類は返却いたしません。控えなどは応募者責任でご対応ください。
- ・応募申請書や補足資料に貼付する写真や図については、肖像権や知的財産権等の関係法令に抵触しないものをご使用ください。
- ・応募に係る電話番号等の個人情報には、適切に管理し、「地域発！いいもの」の選定及び本事業から暴力団等を排除する目的以外には使用しません。

※地域技能振興コーナー記入欄

受付年月日	令和 年 月 日
都道府県名	
受付番号(2桁)	
確認者名	
備考	

※中央技能振興センター記入欄

選定番号	
備考	

2. 取組概要

(1) 取組名称	〇〇の伝統技能の継承、後進技能者の育成	(2) 実施開始年月
		平成〇年〇月
(3) 取組内容(概要)		
<p>(記入例)</p> <p>1. 地域内の事業者に対して、〇〇に関する伝統技能の継承のための技能講習会・セミナーを実施している。</p> <p>2. 関係自治体の要請を受けて、周辺地域における歴史的建造物の修復調査の実施に協力している。</p> <p>3. 優れた技能を持つ者に対して、「〇〇マイスター」として後進の指導にあたる技能者を認定する。</p> <p>4. 広く後継者の育成するため、将来後継者になり得る者の確保や普及のため、工業高等学校における実技指導や技能の実演を行っている。</p> <p>5. 自治体等と連携して、「ものづくり体験教室」、各種手芸教室への講師の派遣などを行い、〇〇文化や技能の周知と普及活動を行っている。</p> <p>(記入上の注意事項)</p> <p>取組内容について、ポイントを3～5の大項目に整理して簡潔にご記入ください。地域貢献、技能振興の2つの内容を盛り込み、技能振興は技能伝承、後継者育成、技能の周知・広報、などのポイントに分けてご記入ください。業界内や組合内の活動以外に、後継者育成、一般への技能の周知や製品の周知などがあれば必ず記入してください。</p>		
(4) 取組内容(詳細)		
<p>(記入例)</p> <p>1. 地域内の事業者に対して、〇〇に関する伝統技能の継承のための技能講習会・セミナーの実施の実施 〇〇は、県の〇〇地区に江戸期から伝わる伝統技能です。各事業者が個別に技能伝承を行ってきたが、事業者の後継者不足、入職者の減少などにより、従来の技能伝承に頼っていたのでは後継者の育成が難しくなってきた。このため、組合全体で伝統的な技能について講習会やセミナーを実施し、後継者育成の取り組みを進めている。現在、組合内における検定試験について検討を進めている。</p> <p>2. 地域内の歴史的建造物などの修復や調査 関係の自治体と連携して、伝統的な技能を活用して、歴史的建造物の修復に係る調査や修復などを行い、これらの活動を通じて、地域貢献や地域における技能のPRを行っている。</p> <p>3. 優れた技能を持つ者に対して、「〇〇マイスター」として後進の指導にあたる技能者として認定する。 組合内に検討委員会を設置し、講習会の講師になる「〇〇マイスター」に指定し、後進の指導にあたる者を確保するとともに、各種の普及活動の実演なども行う講師として登録している。</p> <p>4. 工業高等学校における実技指導や技能の実演 県内の工業高等学校などと連携して、技能講習や技能体験を行い入職者の確保、伝統技能の普及活動を行っている。</p> <p>5. 地域における普及活動 自治体、〇〇県職業能力開発協会と連携して、「ものづくり体験教室」への参加、各種手芸教室への講師の派遣など〇〇文化や技能の周知と普及活動を行っている。</p> <p>(記入上の注意事項)</p> <p>取組内容のポイントに沿って、地域貢献、技能振興のうち、技能伝承、後継者育成、技能の周知・広報、などできるだけ具体的に記入してください。</p>		
(4)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
(5) 取組のアピールポイント・特徴・取組の効果など		
<p>1 事業所個別で行われてきた技能の伝承を組合で取り組むことにより、事業所間の交流が活発になり、組合全体の技能のレベルアップと活性化に役立っている。</p> <p>2 修復の調査が県の広報誌や新聞に紹介され、地域における伝統技能の県内へのPRに繋がった。また、組合内における技能伝承活動のモチベーションのアップにも繋がっている。</p> <p>3 「〇〇マイスター」の選定を行い、事業所別ではなく組合全体で技能を伝承していこうという意識が向上し、全体のレベルアップに繋がっている。</p> <p>4 工業高校生の指導を通じて、若者や学校関係者に技能のPRができた。毎年実技指導を行うなど継続的な活動に繋がっている学校もあり、今後、業界への入職に繋がることが期待できる。</p> <p>5 自治体や関係団体と協力して、ものづくり体験教室などの活動を通じて、多くの県民に今に伝わる伝統技能を周知広報することができ、地域外の小中学校などから体験教室などの依頼がされるようになった。</p> <p>(記入上の注意事項)</p> <p>1 技能伝承、技能向上、後継者育成などの取組主体として、技能振興の効果があつた内容を記載してください。</p> <p>2 事業の推進や周知広報などの結果として、広く技能の重要性をアピールできた内容があれば記載してください。取組が都道府県紙や自治体の広報などに紹介された記事がありましたら、別紙として添付してください。</p> <p>3 地域の伝統技能のPR、地域貢献活動などを通じた地域貢献について記載してください。</p>		
(5)の補足資料: (該当する□に✓ 印等チェック)		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

3. 暴力団等に該当しない旨の誓約書

応募にあたり、「誓約書」の内容を確認の上、口に✓印をご記入ください。

誓 約 書

- 当社（当団体）又は私は、下記1及び2のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。
この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

記

1 応募者として不適当な者

- (1) 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事業所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき
- (2) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- (3) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- (4) 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
- (5) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

2 応募者として不適当な行為（活動）をする者

- (1) 暴力的な要求行為を行う者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
- (4) 偽計又は威力を用いて本事業関係者等の業務を妨害する行為を行う者
- (5) 公序良俗に反する行為（活動）、又はその恐れのある行為（活動）を行う者
- (6) 法律、法令もしくは条令に違反する行為（活動）、又はその恐れのある行為（活動）を行う者
- (7) その他前各号に準ずる行為（活動）を行う者